

服部 力

服部都市建築設計事務所 会長
(1級建築士、工学博士)

1990年前後、日本経済は目覚ましい発展を遂げ、先進国の仲間入りを果たした。国民の所得は向上し、急激な車社会が到来、生活様式も大きく変わりつつあった。主要街道の沿道には各業種の郊外型店舗が次々と建設され、新たな街並みが形成されていた。

その舞台裏では出店企業による商業店舗デザインナーの提案型コンペが行われ、われわれも数多くの設計事務所と同様にそのコンペに参加した。その一つにデニーズの店舗があった。デニーズは日本で事業展開を開始した時からの付き合いがあり、米国デザイナーによる基本設計の店舗を日本の法律に合わせて設計を

見直し、日本人の体形や好みに合わせてという先駆的な取り組みを当社で行い、数店舗



新しい時代への挑戦、コンペ必勝へ

の設計を受注していた。

デニーズはある時、各店舗ごとではなく、統一した店舗デザインを採用していく方針を打ち出し、デザインコンペを実施した。当社は多少過去の実績が加味されるものと期待していたが、全く容赦なく同一条件でのコンペとなった。当社は実績があるだけに面子をかけて、最良の提案を考えた。その努力の甲斐があった。最優秀賞を頂戴した。その時の喜びは今なお、忘れがたい。

その後デニーズの店舗を全国で130店舗近く手掛けたが、それは当社にとって大きな副賞をいただいたよつなも思わぬ方向に広がっていく。ある日、ユニクロの店舗開発本部から当社に問い合わせがきたのだ。すぐに同社の柳井正社長と面談。東京渋谷神南町のSRC造地下1階地上4階建ての店舗設計の依頼を受け、その後も新しいタイプの店舗設計を何件か受注した。こうした店舗設計は当時、大半が店舗デザインコンペとして行われ、当社はメガネショップやドラッグストア、スポーツジムなどで、全国コンペで入賞し、実施案となり、数多く設計を担当させていた。

デザインコンペは中堅幹部はもとより、若手社員にも設計ができる良いチャンスとなった。さらに、受賞できれば設計の企画から各種書類の申請業務、基本・実施設計、工事監理までほぼ単独で担当でき、若手設計者にとって大きな経験となり、将来に向けての財産となった。私自身もコンペが大好きで、そうしたチャンスがあれば、ぜひとも挑戦すべきだと今も変わらぬ気持ちでいる。

全国に展開したデニーズの店舗